

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境								
1 音環境		-	-					
1.1 騒音		-	-					
1.2 遮音		-	-					
1 開口部遮音性能		-	-					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		-	-					
2 温熱環境		-	-					
2.1 室温制御		-	-					
1 室温		-	-					
2 外皮性能		-	-					
3 ゾーン別制御性		-	-					
2.2 湿度制御		-	-					
2.3 空調方式		-	-					
3 光・視環境		-	-					
3.1 昼光利用		-	-					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		-	-					
4 空気質環境		-	-					
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量		-	-					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		-	-					
4.3 運用管理		-	-					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御		-	-					
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-			2.7
1 機能性		-	-					
1.1 機能性・使いやすさ		-	-					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		-	-					
1.2 心理性・快適性		-	-					
1 広さ感・景観		-	-					
2 リフレッシュスペース		-	-					
3 内装計画		-	-					
1.3 維持管理		-	-					
1 維持管理に配慮した設計		-	-					
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		2.7	0.50					2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.22					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.22					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.11					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.22					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.22					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.2	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		-	-		-	
	3	電気設備		1.0	0.25		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.25		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.25		-	
3 対応性・更新性				2.8	0.50		-	2.8
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.6	0.30		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.097	1.0	0.60		-	
3.2	荷重のゆとり		5.0	0.40		-		
3.3	設備の更新性		3.0	0.30		-		
3.3	1	空調配管の更新性		3.0	0.40		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.20		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.10		-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57		-	2.5
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0	
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制						-	
2	自然エネルギー利用		3.0	0.13		-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.16 住宅(専有部) -	5.0	0.63		-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI=0.16	5.0	1.00		-		
	集合住宅の評価(3c)					-		
4 効率的運用				3.0	0.25		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-		
	集合住宅の評価					-		
4.1	モニタリング					-		
4.2	運用管理体制					-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.0
1 水資源保護				2.2	0.20		-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60		-	2.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	梁、柱の鉄骨部材が再利用可能。鉄骨(躯体)+鉄骨(手摺)	5.0	0.22		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.4	0.20		-	4.4
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-		
3.2 フロン・ハロンの回避				5.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-		
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していません。	5.0	1.00		-		
3	冷媒		-	-		-		
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.5
1 地球温暖化への配慮			LCCO2=58%	4.6	0.33		-	4.6
2 地域環境への配慮				2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していません。	5.0	0.25		-		
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-		
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場を確保しています。	4.0	0.25		-		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-		
2	振動		-	-		-		
3	悪臭		-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-		
2	砂塵の抑制					-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていません。	4.0	0.70		-		
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-		